



桐生市新里町を東西に走る国道353号線の新里町大久保の交差点を北側の新里北小学校方面へ向かう。小学校を左に見て両側に木々の茂る林道をさらに東へ道なりに進むと左(北)側に「大久保の石造大日堂」の標柱がある。この標柱脇の道の無い急斜面を少し登ると平坦な部分となり大日堂が祀られている。林道をさらに進むとカーブの続く下り坂となり、右側のガードレール近くに「石造大日如来像」の導入板がある。左(東)側の竹の覆いかぶさる脇道に入り100mほど上ると道幅が狭まり未舗装となる。この先は大日山山頂へ至る緩やかな登り道で春から秋にかけて篠や雑草の茂る悪路が400mほど続く。ここを抜けると灌木のまばらに生える大日山の南端に出る。北に回り込んで山頂を目指すと平らな部分となり大日如来像が祀られている。